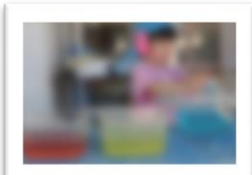
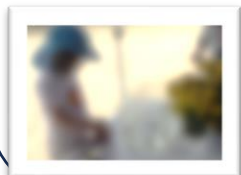




色水遊び

花びらで色を出す色水遊びと、「赤・青・黄」の食紅をつかった色水遊びがあります。花びらの方は、自分ですり鉢で擦って色を出すので同じ色にはなりません。花びらをすりつぶしてから少しずつ水を足す子どもや、最初に水を入れてかき混ぜるようにしている子どもがいます。濃い色にする方法はあえて知らせずグッと我慢！遊びの中で繰り返し試したり、友達の様子を見たりしながら、じっくりと色に向き合い、偶然にできる色との出会いを楽しめる遊びです。



幼小交流

墨江小学校の4年生のお兄さん、お姉さんと一緒に泥んこ遊びと色水遊びをしました。泥んこ遊びでは、ゆり組だけではつくれなかった深い穴や大きな川ができて、「すごい！」と目を輝かせていました。優しく声をかけてもらったり、一緒に遊んでもらったりしたことで、小学生への憧れの気持ちもより大きくなったようです。



ワクワク！やってみたい！好きな遊び

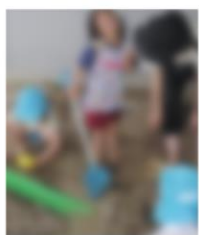
魚釣りごっこ、アイドルごっこ、製作、大型積み木の遊びが盛り上がっています。ワクワク！やってみたい！と子ども達が感じて遊べるように、教師は子どもの興味や関心を読み取って、それに応じた環境を提案していきます。友達と考えを出し合い、試したり、工夫したりするなど、一緒に遊ぶ楽しさや協力して遊ぶ楽しさを味わえるよう、思いを伝え合う機会ももっています。

魚釣りに出かけたことのある子どもが、幼稚園でも魚釣りごっこを始めました。道具の話や魚について詳しく話していた姿から、本格的な竿づくりを開始しました。糸を巻き取るリールの部分が難しく、子どもと遊びながら改善していき何パターンもつくりました。出来上がった釣り竿で、Aくんが糸を海に投げ入れる姿を見たクラスの子は「音がピュン！でなってカッコよかった」という感想を話したり、魚を狙う真剣な姿に思わず息を殺して見守ったりしていました。友達の遊ぶ姿に刺激を受け、「私もやってみたい」「魚つくろうかな」と遊びへの期待が膨らんでいました。これからさらにどんな遊びが広がっていくか楽しみです。



泥んこ遊び

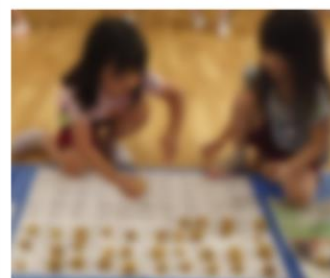
水が溜まるまで裸足で砂場の中を歩いて遊びます。「気持ちいい〜！」とサラサラとした砂の感触を足で感じて遊びます。藤棚で日陰になっているので、ひんやりもしています。



日向に出たり入ったりしながら、遊びの中で日向と日陰の温度差に気付けるような言葉をかけています。バケツいっぱい溜めた水を勢いよく流したり、「重いー」と踏ん張りながら泥をシャベルで掘ったり…。子どもたちは、砂、土、水、泥の違いを、全身を使って遊びながら自然と体で感じています。

ジャガイモの収穫

畑のそばに「大きい」「中くらい」「小さい」のかごを準備し、自分で考えて分けていきました。かごに入ったイモの量を見て、「いくつくらいあるかな？」と想像した数と実際に数えた数を比べる機会になるよう投げかけました。それぞれの芋を10ずつ並べながら数えることで、目で見ても、大きさの違いや量の違いに気付くことができました。自分たちが育て収穫したものを数えることが喜びとなっていることも感じた場面でした。幼稚園での遊びや生活の中で、子ども達は形や大きさ、重さ、数量等に自然と触れています。そうした体験を繰り返し楽しむことで、小学校の学びへとつながり、数量や図形への関心や感覚を育てていきます。



〇5月の絵本〇



「まゆとうりん」

やまんばの娘「まゆ」がいのししの赤ちゃん(うりん)のお母さんの代わりになって奮闘するお話です。どろんこになって遊ぶまゆとうりんの姿と、自分たちを重ねていました。